

# エクセル(7)の目次

スライド番号

関数の書式

関数ウィザードの使い方

四捨五入 / 切り上げ / 切り捨て

IF関数

問題(1)

問題(2)

問題(3)

発展問題

## 関数の書式

**SUM**関数、**AVERAGE**関数など代表的ないくつかの関数の書式 (数式の構文) は、下記のようなものである。

=関数名(引数 1 , 引数 2 , 引数 3 , . . . . .)

引数 ( 入力データ ) は、数値で入力しても、セル名で指定してもよい。

例 :    =SUM( A1: A10, B21: B30, C31: C40)    など。

引数が不必要な関数もある ( 入力してみよ ) 。 例 :    =TODAY()    =NOW()

関数と引数を入力して、Enter キーを押すと計算が行われる。

関数が返す値を、結果」または「戻り値」と呼ぶ。

関数は直接入力してもよいが、関数ウィザードを使って入力してもよい。

数式の編集・訂正は、セル内だけでなく、  
数式バー ( 「fx」の横 ) で行ってもよい。

[目次へ](#)

## 関数ウィザードの使い方

結果を表示するセルを選択する。

挿入」メニューから「関数」を選択する。

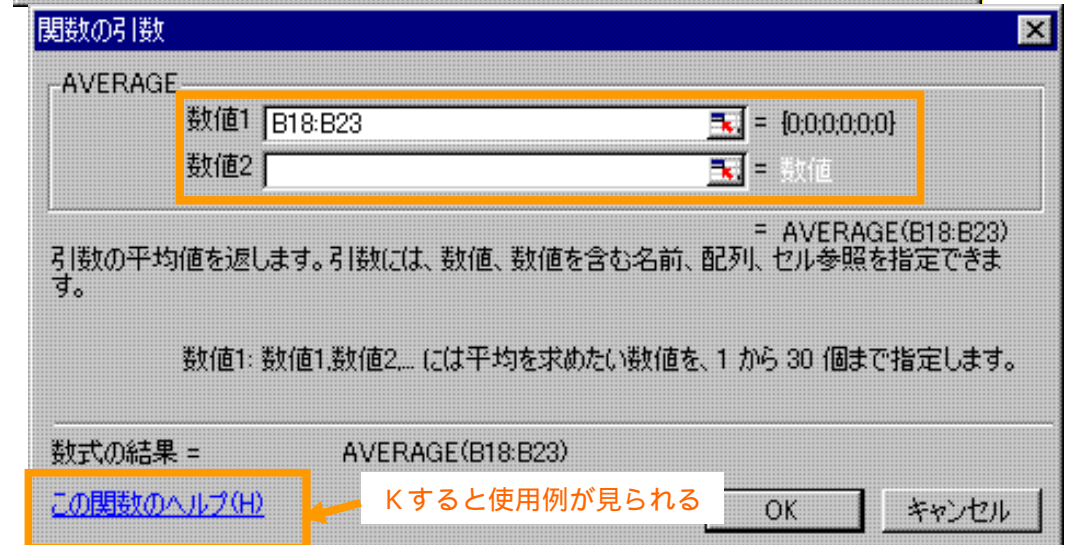
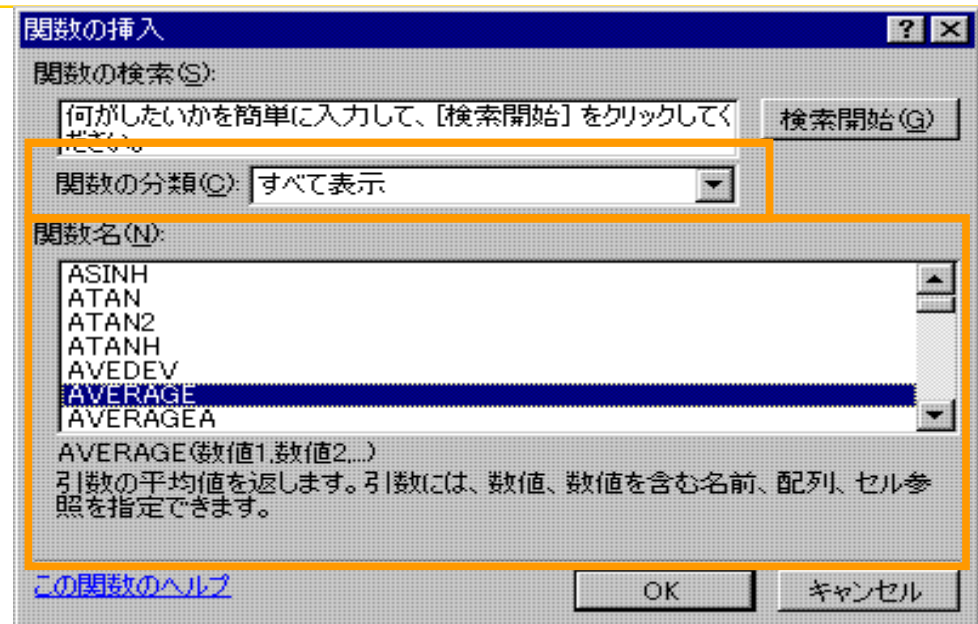
関数ウィザードで、目的の関数を選択し、「OK」をクリック。

関数の分類」欄で、よく使われるのは、「すべて表示」と「最近使用した関数」である。

関数名」欄が選択された状態で、関数の最初の文字をいれると、その文字で始まる関数が表示される。

数値1のボックス等に、データ範囲 (セルを参照) 等をドラッグ等により入力する。

「OK」をクリック。



[目次へ](#)

## 四捨五入 / 切り上げ / 切り捨て

**ROUND関数**：指定した桁未満の端数を四捨五入する。

**=ROUND(数値, 桁)**

例： **=ROUND(1234.5678,2)**      **1234.57**

**=ROUND(1234.5678,-2)**      **1200**

**ROUNDUP関数**：指定した桁未満の端数を切り上げる。

**=ROUNDUP(数値, 桁)**： 指定した桁未満の端数を切り上げる。

**ROUNDDOWN関数**：指定した桁未満の端数を切り捨てる。

**=ROUNDDOWN(数値, 桁)**

[目次へ](#)

## IF関数

「 だったら× × を行い、 でなかったら を行う  
=IF (条件式, 条件式に合致した時の指示, 条件式に合わなかった時の指示 )  
TRUE FALSE

式の例： =IF(A2<=50,"X"," ")

条件式	意味
A2=B2	A2とB2は等しい
A2<>B2	A2とB2は等しくない
A2>B2	A2はB2より大きい
A2>=B2	A2はB2以上(大きいか等しい)
A2<B2	A2はB2より小さい
A2<=B2	A2はB2以下(小さいか等しい)

[目次へ](#)

## 条件付書式の例 : 空白セルに色を付ける

セルに色をつけておくと、入力ミス、見落としが減る。

1つのセルを選択する (例 : A1)。

書式」メニュー

条件付き書式」とK。

数式が」を選択する。

=ISBLANK (A1) と入力する。

書式」ボタン 「パターン」タブとK。

色を指定し、OK」を2回 K。

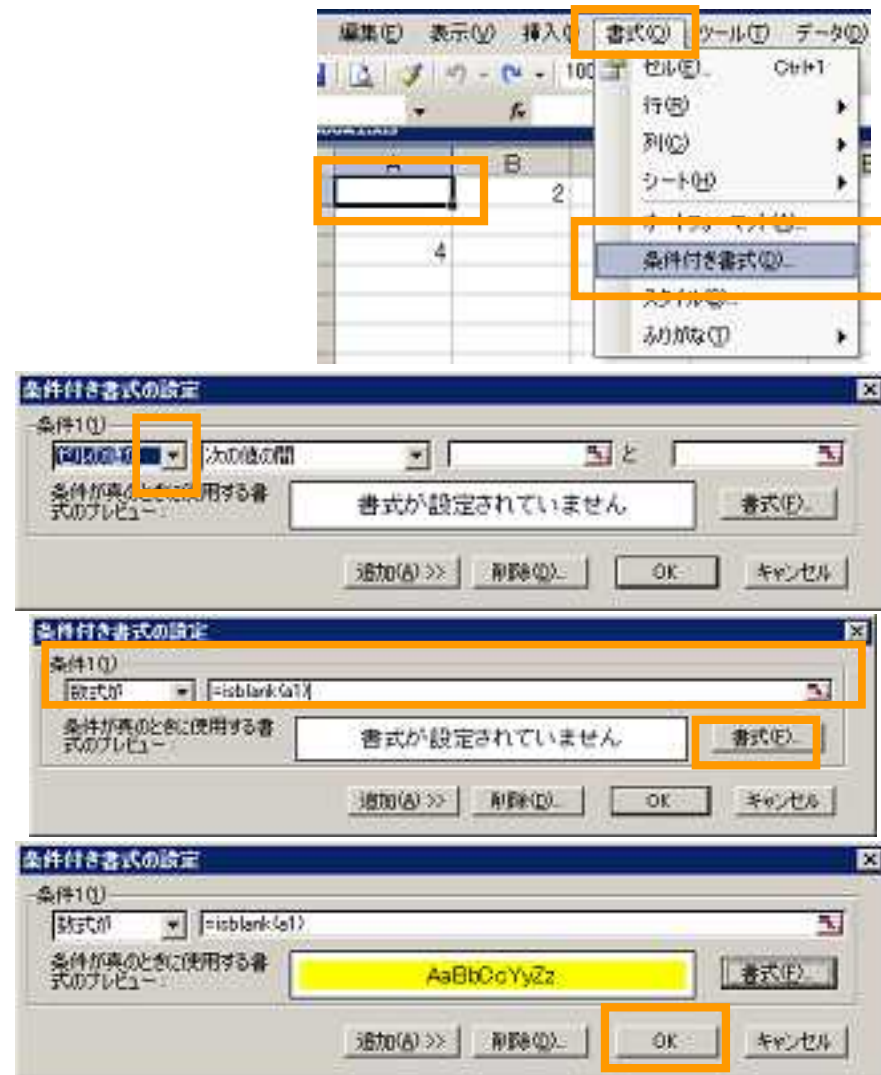
条件付き書式」を設定したセルを右ボタンを使ったオートフィルで 書式のみコピー」する。

条件付き書式」を設定したセルにデータを入力すると、色が消える。

ISBLANK (セル名) : 空白セルを参照するとき TRUE を返す。

関数には

=IF (A1="", TRUE, "") を使ってもよい。



## 課題(1)

課題1 下図の表をオートフィルを多用して作成せよ。( の部分だけ手入力。)

No	データA	データB	データC	データD	データE	平均値
1	10	100	1000	500	1	
2	20	150	1200	450	2	
3	30	200	1400	400	4	
4	40	250	1600	350	8	
5	50	300	1800	300	16	
6	60	350	2000	250	32	
7	70	400	2200	200	64	
8	80	450	2400	150	128	
9	90	500	2600	100	256	
10	100	550	2800	50	512	
合計値						

課題2 課題1の表をコピーし、空欄を埋めよ。最初の合計値はデータAとデータBの値の合計である。

なお、**SUM**関数の書式は、**AVERAGE**関数の書式と同じである。

[目次へ](#)

## 課題(2)

課題3 下図の表を作成し、空欄を埋めよ。(問題の数値の規則性に注意。)

	小数点下2桁目で四捨五入	百の位で四捨五入	小数点下2桁目で切り上げ	百の位で切り下げ
12345.6789				
12356.6789				
12367.6789				
12378.6789				
12389.6789				
12400.6789				
12411.6789				
12422.6789				
12433.6789				
12444.6789				

↑  
オートフィルで入力せよ。

[目次へ](#)



## 課題(3)

**課題 4** 右図のような表を作成し、そのコピーを作成せよ (課題 5、発展課題のため)。  
その後、IF関数を用いて、点数が60点以上だったら、判定」欄に、“合格”、60点未満だったら”不合格”と表示させよ。

(判定」欄をクリックすると、数式バーに正しい数式が表示されること。)

氏名	点数	判定
A	33	
B	66	
C	77	
D	44	
E	55	
F	22	
G	99	
H	88	
I	22	

[目次へ](#)

## 発展課題

課題 4の表をコピーし、点数が 80点以上だったら、判定 欄に、“上”、79点以下で60点以上だったら“中”、59点以下未満だったら”下”と表示させよ。(IF関数を2つ組み合わせて使う )

このような結果になる

氏名	点数	判定
A	33	下
B	66	中
C	77	中
D	44	下
E	55	下
F	22	下
G	99	上
H	88	上
I	22	下

この列をクリックすると、数式バーに関数が表示される。

[目次へ](#)